

## 産業革命遺産推薦決定

端島炭坑（軍艦島）をはじめ、<sup>こすげしゅうせんじょうあと</sup>小菅修船場跡・旧グラバー住宅などが、長崎県・市を含む8県11市でつくる「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」として、2015年の世界遺産登録に向けてユネスコ（国連教育科学文化機関）に推薦されることが、2013年9月に決定しました。幕末から明治にかけ、西欧の産業技術を取り入れて研究を進めた上で、短い期間で国内に適した技術を開発し、急速に発展させたことが評価されたようです。

世界遺産への登録といえば、本県では「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が話題になり、まちなかやテレビなどでも関連するポスターや放送を目にします。しかし推薦枠が年に各国1件のため、こちらは2012年度に引き続き今年度も見送られ、2016年以降の登録を目指して取り組みが進められることとなりました。

今回推薦される遺産群のうちのひとつ端島炭坑は、既に「軍艦島」という通称で全国的にも知名度があり、観光客も増えてきています。軍艦島の写真集や出版物も発行されており、世界遺産への登録となると、世界の注目もさることながら、地元での関心も大きくなることでしょう。

2012年には長崎の夜景が世界新三大夜景として認定されました。長崎市の夜景の名所「稲佐山」への観光客も増加中とのことです。この先、上記のようなものが世界遺産へ登録されるとなると、長崎を訪れる人もますます多くなると予想されます。長崎の町が、これからもさらに活気づいていくことを期待したいと思います。



### 『軍艦島入門』

黒沢 永紀 / 著  
実業之日本社  
N213.9 ク



### 『珠玉の教会 長崎遺産 三沢博昭遺作写真集』

三沢 博昭 / 著  
長崎文献社  
N523.1 ミ



### 『世界遺産データブック 2014年版』

古田 陽久 / 著  
古田 真美 / 著  
シンクタンクせとうち総合研究機構  
709 セ

炭鉱の島、無人島、観光上陸として人気の島…。20世紀の日本がすべて詰まった島、軍艦島。誕生の秘密から「軍艦」化した理由、絶頂期を経て廃墟となった現在まで、軍艦島の全貌を豊富な写真とともに紹介する。

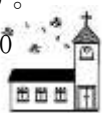
凛としたたずまいと風格の大浦天主堂、簡素で堅実、装飾を排した神父の性格がしのばれる出津教会堂…。長崎の珠玉の教会を収める。数々の名建築を撮りつづけた写真家・三沢博昭の遺作集。

第37回世界遺産委員会プランペン会議で新たに「世界遺産リスト」に登録された19件を加えたユネスコ世界遺産981件を、ユネスコの地域分類および国別に整理したデータ一覧。

## 図書館カレンダー

※毎週火曜日は休館日です。

※開館時間 10:00～20:00



※12/29(日)～1/4(土)は  
年末年始のため休館します。

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

# 長崎市立図書館☆裏側ツアー

10/13(日)、図書館裏側ツアーを開催いたしました。7名の方にご参加いただき、普段は見ることのできない図書館のバックヤードを中心に館内をご案内しました。4階の書庫から機械を使って自動で本を出せる「オートライブ」や、返却された本を分類別に仕分ける「自動仕分け機」など、珍しい機械に興味深々の様子でした。

また、本に透明なブックカバーを貼る作業や、壊れた本を修理する様子も見ていただき、図書館のことをより深く知ってもらうよい機会となりました。ご参加、ありがとうございました。



本にブックカバーを貼ったり、修理をする様子



屋上庭園



3階書庫

# 古写真展「職業写真師 上野彦馬の誕生」

10/10(木)～10/27(日)の期間、長崎大学附属図書館と長崎市立図書館の共催で、古写真展「職業写真師 上野彦馬の誕生」を開催いたしました。この古写真展は、日本最初期の写真館を長崎に開業し、外国の一流写真家に学びながら、苦労を重ねて技を究めていった上野彦馬の幕末写真に焦点を当てたものです。また今回、ライデン大学所蔵の『W.A.コックアルバム』の全写真が、国内で初めて公開されました。

開催期間中には長崎大学名誉教授・姫野順一氏によるギャラリートークや、長崎居留地研究会・川野紘二氏と中島恭子氏による講座とミニトークも開催しました。また、来場者の方を撮影し、古写真風に加工したものをプレゼントする企画も大変好評でした。

昨年に引き続き2回目の古写真展でしたが、貴重な写真を目にする機会をたくさんの方々に提供できたことを非常に嬉しく思います。たくさんのご来場、ありがとうございました。



オープニングセレモニー



姫野氏によるギャラリートーク  
「初期上野彦馬の作品と作風」



川野氏・中島氏による講座とミニトーク  
「古写真ガイド入門編  
—幕末・明治の長崎にタイムトリップしてみよう—」

# ブック・バトン

毎月2名の図書館員が、テーマをもとにおすすめの本を紹介！

今月のテーマは

# 音楽

## 音楽の道に生きる

秋も深まり、心静かに本や音楽を楽しみたいこの季節に、音楽を作り表現する仕事人、「音楽家」が著した本をご紹介します。

『感動をつくれますか？』は、国内外で活躍する作曲家・久石譲さんの著書です。「商業作家」としての作品作りの姿勢や、常に上質な作品を生み出し続けるための心構えについて、久石さんの率直な考えが述べられています。その道を究めるために、悩み苦しみながらも最大限の努力を続ける、一流のプロの姿がここに在ります。

『聞いて、ヴァイオリンの詩』は、ヴァイオリニスト・千住真理子さんのエッセイ集です。演奏家としての挫折と再起、家族の思い出、音楽や人との出会い…人生を彩る様々なエピソードが美しい文章で綴られています。彼女は、自分自身が楽器となり、音となって、人の心に言葉では表現できない情感を届けることこそ喜びであると語ります。音楽という芸術の偉大さ、音楽家という職業の尊さを教えてくれる、心に響く1冊です。

(司書：石井 陽子)

『感動をつくれますか？』 久石 譲／著 角川 one テーマ 21 角川書店 762.1 ヒ  
『聞いて、ヴァイオリンの詩』 千住 真理子／著 文藝春秋 B762.1 セ

## 読書をきっかけに

皆さんは普段、どのような音楽を聴きますか？クラシック音楽は堅苦しいイメージがあり、聴く機会が少ないという方も多いのではないのでしょうか。私もその一人で、クラシック音楽はとっつきにくいと思っていました。そんな私でもクラシックに興味を持つきっかけとなった本を2冊紹介します。

1冊目は樋口裕一著『笑えるクラシック』です。有名なクラシック音楽が解説されており、作曲者の性格や作曲時の背景を踏まえた解説なので、作曲者にも親近感を覚えます。

2冊目は奥泉光著『シューマンの指』です。天才ピアニストの少年と、彼に傾倒する主人公。彼らが通う高校で起こった殺人事件、そして不慮の事故で失われる天才ピアニスト少年の指をめぐって、物語は展開します。青春物語でもあり、恋愛物語でもあり、サスペンスでもあります。BGMを流すとしたら、もちろんクラシック音楽が似合う作品です。

これから益々寒さが厳しくなります。室内で音楽を聴きながら、ゆったりと読書なんていかがでしょうか。

(司書：川原 恵子)

『笑えるクラシック』 樋口 裕一／著 幻冬舎 760.8 ヒ  
『シューマンの指』 奥泉 光／著 講談社 F913.6 オク





## 貸出券には有効期限があります



- 登録された日以降の誕生日から3年2ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の6ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヶ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申請書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの（免許証や保険証など）の提示をお願いいたします。（小学生以下の方は申込書の記入のみ）
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- **有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

## 図書館ラジオ 10月の紹介本

図書館ラジオは、毎月第2金曜日午後2時、長崎シティFM (81.3MHz)「ウィーパラライブラリー」で放送中です。

子会社に飛ばされたバブル世代の主人公・半沢直樹。親会社から受けた圧力や嫌がらせには、知恵と勇気で倍返し。世代を超えた男たちの戦いが、今始まる！

### 『ロスジェネの逆襲』

池井戸潤／著  
ダイヤモンド社  
F 9136 イケ



半沢直樹と言えば、最近テレビドラマでも話題となりました。同著者の『オレたちバブル入行組』『オレたち花のバブル組』を原作として書かれたドラマです。これらも予約多数で順番待ちとなりますが、あわせてお楽しみください。

## 予約ランキング

(2013年10月14日現在)

※予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。あらかじめご了承下さい。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	ホテルローヤル	桜木 紫乃	集英社	411	6	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上 春樹	文藝春秋	225
2	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾	講談社	343	7	永遠の0(文庫本)	百田 尚樹	講談社	192
3	海賊とよばれた男(上)	百田 尚樹	講談社	327	8	64	横山 秀夫	文藝春秋	172
4	夢幻花	東野 圭吾	PHP研究所	257	9	医者に殺されない47の心得	近藤 誠	アスコム	158
5	禁断の魔術	東野 圭吾	文藝春秋	234	10	死神の浮力	伊坂 幸太郎	文藝春秋	147